

# 令和3年度 札幌市第二かしわ学園事業報告

## 第1 基本方針

札幌市第二かしわ学園の運営は、12年目となりました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染・予防に重点を置いて学園運営を行ってまいりました。そのため、行事や活動の中止・変更があり計画通りの運営を行うことが出来ませんでした。が学園の設置目的（基本方針）である「作業・日常生活・文化レクリエーション活動などを行うことにより、日々の生活の充実とともに、社会自立を促すこと」を基本に、新型コロナウイルス感染症の感染・予防を講じながら「できること」を職員一同考え、少しずつではありますが行事や活動を再開しました。再開にあたり利用者、家族の皆さんのご理解、ご協力と意思を受け止め、更に一人ひとりを大切にす支援と支援体制の充実を目指し、利用者の日常生活能力、社会生活能力、働く意欲と技術、自立能力の育成と向上に努め適正な管理運営と安心して学園に通っていただけるよう努めてまいりました。その結果、今年度の利用者満足度調査で総合的な満足度で100%をいただき、これまでの学園運営の取り組みを理解していただき、信頼関係をより強く感じました。

この12年間で利用者や家族の皆さんが少しずつ歳を重ね、利用者の年齢状況も弱年層と高齢層に二極化しております。また、この数年に入所された利用者も重度の方が多く地域生活を支えるために何が必要なのか、いろいろな人生の選択や、サービス提供について考えさせられる場面が多くありました。個別支援計画に基づき、利用者一人ひとりのニーズや特性に応じた支援を行ってまいりましたが、今まで以上に地域生活を支えるためのサービス提供が求められてきているのではないかと思います。

さらに、利用者や家族、地域住民の声を受け止め、札幌市の公共施設としての期待に応えられるよう、福祉サービスの充実と発展を目指した透明性の高い管理運営に努めてきました。

## 第2 重点事項

### 1 虐待防止に向けた取り組み

障がい者の支援は、職員一人ひとりに利用者の尊厳の保持と人権の擁護の姿勢がなければ、より良い支援には繋がらず、虐待は絶対あつてはならない行為であることを、最重点課題として虐待防止に努めてまいりました。

虐待防止の取り組みとして、全職員対象に虐待防止のためセルフチェックを10月に行い職員全員に面談を実施し、セルフチェックの回答結果を職員会議で報告しています。

また、准職員を含めた常勤職員以上に、それぞれ勤務時間帯が違うパート職員に対しても打ち合わせ等を勤務内に実施し、常勤職員同様の情報提供の機会を増やし共有化に努めました。

年度当初に障害者虐待防止法に関する基本的な理解や、人権尊重の意識の向上を図るため虐待防止研修を行い、法人の虐待防止研修については2月から3月にかけて実施し、職員全員参加することができました。

### 2 支援体制の充実

地域生活を支援する通所の生活介護事業所として、障がいの状況が多様化、または年齢を重ねた利用者が増えてきているため、一人ひとりの支援体制を強化し、支援体制の充実を図

りました。

さらに、利用者の人権尊重と利用者本位のサービス提供に努めるとともに、利用者、家族、札幌市との連携を図り、円滑な事業及び施設運営に努めました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、「札幌市第二かしわ学園運営協議会」は書面での実施となりましたが、学園運営状況についてご意見をいただき学園運営に役立てています。

### 3 日中活動の充実

生産的・創作的作業活動の機会の提供に加え、班活動、体育活動、レクリエーション活動など新型コロナウイルス感染症の影響により変更を余儀なくする部分もありましたが、このような状況の中でも「できること」考え、外出・外食活動等も実施し日中活動の充実に努めました。

また、日常生活を営む上で必要な食事や食後の歯磨き、身辺処理、日々の健康管理、毎月の体位測定を実施し、健診車によるレントゲン検査を含めた健康診断は、時期と体制を変更して実施し、嘱託医による内科検診等も実施することが出来ました。

さらに、余暇時間を利用してダンスや玉入れ、パズル等の趣味的な援助も行い、生活の張りや生きがいに通じるよう活動の充実に努めました。

### 4 定員の維持

利用者のニーズに即した事業活動の充実に努めるとともに、利用者・家族との信頼関係の構築に努め、利用者の登園率の向上に努めました。利用者または家族の加齢に伴い登園できない方、施設異動などで退所する方がおりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、ワクチン接種等による欠席もあり、且つ年度末には新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生し、4日間の休園を余儀なくされたため、登園率の向上に繋がりませんでした。

しかし、養護、支援学校卒業生の確保に向けて、新型コロナウイルス感染症の感染・予防に努めながら実習生の受入れを図るとともに、相談支援事業所との情報交換を行い、学園利用の希望を持つ家族の問い合わせや施設見学に対して見学対応を行い、来年度に向けて1名の新規利用者に繋げることが出来ました。

### 5 研修体制の充実

年間研修計画に基づき、法人の階層別職員研修を含め、施設外研修会の参加と内部研修を積極的に行い、支援サービスの向上と改善に努めました。しかし、3月に予定していた一般救急講習会が新型コロナウイルスの関係で実施することが出来ませんでした。

#### <施設外派遣研修>

対象職員	件数	参加延べ人数
管理者	2	2人
サビ管	1	1人
支援員	2	2人
その他	2	2人

#### <施設内研修>

研修名	開催月	参加人数
新任職員研修	4月他	7人
虐待防止に関する研修	4月他	27人
階層別研修 <small>イッネット</small>	11月	28人
虐待防止研修	2～3月	29人
感染症対策研修	3月	29人
防災研修	3月	19人
新人職員対象強度行動障害について研修	3月	3人
その他		0人
合計		142人

6 実施事業

生活介護事業

定員 50名

第3 利用状況と職員配置

1 利用者の状況 (令和4年3月31日現在)

(1) 年齢別構成

(単位：人)

年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	合計	平均年齢
男	2	20	5	9	4	40	31.4
女	0	5	5	4	1	15	34.9
合計	2	25	10	13	5	55	32.3

(2) 障がい支援区分

(単位：人)

区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均区分
男	0	0	8	7	25	40	5.42
女	0	1	3	3	8	15	5.20
合計	0	1	11	10	33	55	5.36

(3) 療育手帳

(単位：人)

区分	A	B	B-	合計	身障手帳取得者
男	37	3	0	40	9
女	13	2	0	15	3
合計	50	5	0	55	12

※男性1名療育手帳なし

(4) 利用期間

(単位：人)

内訳	1年未満	1～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	平均利用期間
男	2	5	17	3	1	12	12.1
女	0	3	3	3	2	4	14.4
合計	2	8	20	6	3	16	12.7

(5) 入退所状況

(単位：人)

内訳	新規契約者	契約終了者	契約終了理由		
			他事業所	体調不良	その他
令和3年度	2	2	1	0	1

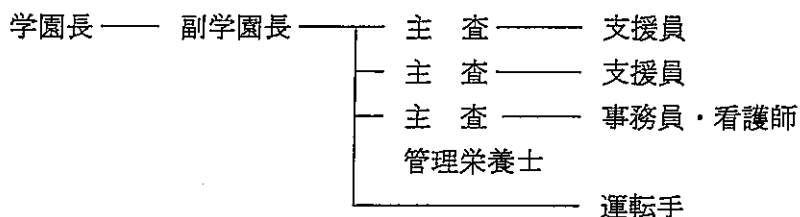
(6) 利用者数の状況

(単位：人、日)

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	931	744	966	883	881	901	951	915	902	811	565	922	10,372人
開所日数	21	18	22	20	21	21	21	20	20	19	14	22	239日
契約者数	57	57	56	56	56	55	55	55	55	55	55	55	—
一日平均利用者数	44.3	41.3	43.9	44.1	41.9	42.9	45.2	45.7	45.1	42.6	40.3	41.9	43.3人

## 2 職員の配置状況

### (1) 運営体制



### (2) 職員配置

(単位：人)

職 種	正規職員	准職員	准職員(パート)	合 計
学園長	1			1.0
副学園長	1			1.0
主 査	3			3.0
支援員	7	11	2.8	20.8
看護師			0.5	0.5
主査・管理栄養士	1			1.0
事務員	1			1.0
運転手			1.0	1.0
合 計	14	11	4.3	29.3

※常勤換算

## 第4 運営方針

### 1 日中活動

#### (1) 作業活動

生産的活動は、コーリングのリング付け替え、木製品玩具磨き、ウニ箱底板作り、チラシ作業の外注作業と、アルミ缶を洗って潰すアルミ缶作業と農耕作業を継続して行っていました。新型コロナウイルス感染症の影響により、チラシ作業の外注は全くなかったほか、コーリングのリングの付け替えについては、破損が多かったリングを耐久性の良いものへと交換したため、今年度半ばから受注がない状況です。そのため、アルミ缶を洗って潰すアルミ缶作業が中心となっており、回収量が少し減っていましたが、単価が年度当初95円だったのが少しずつ上がり、年度末には175円まで回復したため、増収となっています。また、木製品玩具磨きは定期的に受注があり安定しており、農作物も学園祭で販売し、元気ジョブよりチラシの配送も行ったことにより、売り上げに繋げることが出来ました。

<作業収入と工賃(報奨金)>

作業収入	470,706円
工賃支給総額	458,440円
1人当たりの年支給額 (登園率50%以上)	9,500円

#### (2) レクリエーション活動

##### ア 全体活動

毎週水曜日に生活レクリエーション活動として学園全体で各種行事を実施しました。

<季節行事の状況>

日時	内容	場所	参加人数
5月12日	お花見	学園ホール	41人
12月22日	餅つき大会	学園ホール	47人

お盆期間と正月期間に週日課を変更して特別日課を組みました。

<お盆期間特別日課>

日時	内容	参加人数
8月3日	カラオケ大会	43人
8月4日	夏祭りと会食	43人
8月5日	映画会	48人

<正月期間特別日課>

日時	内容	参加人数
1月5日	カラオケ大会	38人
1月6日	新年会と会食	44人
1月7日	映画会	41人

<その他のレクリエーション活動の状況>

内容	回数	平均参加人数
歓迎会	1回	43.0人
映画会	4回	42.0人
カローリング大会	4回	43.5人
スロットボール大会	4回	43.7人
カラオケ大会	3回	43.0人
ボウリング大会	2回	44.0人
ゲーム大会	5回	43.6人
グランドゴルフ大会	2回	45.0人
ダーツ大会	4回	45.2人
球技大会	4回	40.2人
魚つりゲーム大会	5回	44.0人
トリコロキューブ大会	5回	43.8人
合計	43回	42.3人

イ 選択外食

新型コロナウイルス感染症の感染・予防の観点から、感染対策の対応ができる外食先の中から利用者がメニューを選択し少人数で外食に出かけました。

<選択外食の状況>

行き先	回数	参加人数
カレー店	2回	7人
ハンバーグ店	3回	14人
ラーメン店	1回	4人
寿司店	2回	6人
和食店	1回	1人
焼き肉	4回	17人
合計	13回	49人

ウ 選択外出

新型コロナウイルス感染症の感染・予防の観点から、感染対策の対応ができる外出先・

の中から利用者が外出先を1か所選択し出かけました。

<選択外出の状況>

行き先	回数	参加人数
円山動物園	2回	15人
藻岩山登山	1回	3人
パークゴルフ	1回	10人
サンピアザ水族館	1回	5人
青少年科学館	1回	5人
そり滑り(札幌ドームゆきひろば)	1回	3人
豊平館・中島公園散策	1回	7人
合計	8回	48人

## エ 班活動

班ごとに活動を計画し、様々な体験をとおして生活の充実を図りました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染・予防の観点から小旅行を全面中止し、外出活動も公園散策のみ各班それぞれ47回実施しました。

<各班毎の活動状況>

活動内容	1班	2班	3班	4班	5班
レクリエーション	26回	24回	23回	24回	22回
アート活動(あらゆるアート出展作品制作他)	6回	7回	9回	7回	10回
クッキング活動(お好み焼き、ホットケーキ等)	5回	5回	5回	6回	6回
農耕(じゃがいも、枝豆他)	2回	3回	2回	2回	1回
外出活動(旭山公園、真駒内公園散策)	4回	4回	4回	4回	4回
小旅行(千歳空港、定山溪温泉入浴他)	0回	0回	0回	0回	0回
全班合同班活動(スポーツ大会、ご苦労さん会)	2回	2回	2回	2回	2回
その他の活動	2回	2回	2回	2回	2回
合計	47回	47回	47回	47回	47回

## (3) 体育活動

### ア 歩行(期間7月~11月)

利用者の体力に併せて5グループに分け、各グループの状態にあったコースを選択し、歩行を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染・予防の観点から行先もなるべく固定するなど感染対策を行いながら実施しました。

<歩行活動の状況>

コース(距離数)	A-1班	A-2班	B班	C班	D班
平岸霊園内 1周	30回		7回		
平岸霊園内 半周	7回	29回			
平岸霊園内 近隣休憩所		3回	26回		
平岸霊園入口往復	7回	5回	3回	33回	
平岸霊園入口片道					33回
月寒公園					
天神山公園		7回			
合計	44回	44回	36回	33回	33回

イ プール活動（期間 6月～8月）

新型コロナウイルス感染症の感染・予防の観点から小グループでの実施を検討し、2グループは実施することができましたが、感染者が増加し緊急事態宣言が出たためその後のグループは中止としました。

ウ 歩くスキー（期間 1月～3月）

毎週月曜日と金曜日、希望者にちくたくグラウンドと平岸霊園に分かれて歩くスキーを行いました。歩くスキーを希望しない方には、室内活動として軽運動やゲーム等を行いました。

<歩くスキー活動の状況>

歩くスキー実施回数	延べ参加人数	1回平均参加人数
12回	296人	24.6人

エ 歩くスキー大会及び冬季スポーツ大会

冬季の体育活動として、2月25日にちくたくグラウンドで歩くスキー大会と、室内グループは、利用者が選択する形で冬季スポーツ大会で玉入れ、ストラックアウトなどを実施しました。

(4) 年間行事

楽しみのある行事を通じて広く豊かな経験をすることができました。

<年間行事の実施状況>

月 日	行 事	場 所	参加人数
6月25日	ハイキング	近隣の公園を散策。	46人
9月11日	学園祭	学園内で利用者、職員のみで学園内で実施。	43人
10月 1日	ドライブ旅行	野幌森林公園までドライブ。	49人
11月24日	ダンスパーティー	ホテルモントレ札幌で二グループに分かれて実施	22人
11月26日			21人

2 送迎サービス

家族の負担軽減と利用者の施設利用をしやすくするため、送迎サービスを行いました。送迎サービスの希望は多く、約8割の利用者が送迎車で通園しました。西岡方面、真駒内方面、白石駅方面、平岸・中の島方面、中央区・平岸方面、澄川駅・中の島方面の6コースを3台の送迎車（ハイエース10人乗り）で送迎しました。

<送迎サービスの実績>

月	運行日数	月の乗車数	1日平均乗車数
4月	21日	1,344人	64.0人
5月	18日	1,086人	60.3人
6月	22日	1,432人	65.1人
7月	20日	1,278人	63.9人
8月	21日	1,297人	61.7人
9月	21日	1,345人	64.0人
10月	21日	1,390人	66.1人

11月	20日	1,362人	68.1人
12月	20日	1,318人	65.9人
1月	19日	1,194人	62.8人
2月	14日	844人	60.3人
3月	22日	1,378人	62.6人
合計	239日	15,268人	—
平均	—	1,272人	63.8人

※迎え、送りをそれぞれ1カウントとしています。

### 3 給食提供サービス

管理栄養士のもと献立の工夫をするなど利用者の皆さんに喜んでいただけるよう嗜好調査も実施し給食の提供に努めましたが、家族に対しての給食試食会は中止しました。

なお、給食調理業務は、専門業者に委託しました。

### 4 防災・事故防止

#### (1) 防災

自衛消防訓練（総合）を9月と3月の年2回実施したほか、その他の月には防火・防煙に対する避難訓練や地震を想定した行動訓練を実施しましたが、2月に予定していた避難訓練については、大雪のため出来ませんでした。総合訓練時に消火器の取り扱いや災害時の避難場所の説明などを行いました。また、職員に対してBCP（事業継続計画）の確認をし、防災に対する利用者・職員の意識向上に努めました。

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R.3.4.22	火災訓練（避難・消火・通報）	R.3.10.28	火災訓練（避難・消火・通報）
R.3.5.27	火災訓練（避難・消火・通報）	R.3.11.25	火災訓練（避難・消火・通報）
R.3.6.24	地震訓練（行動・避難・通報）	R.3.12.23	地震訓練（行動・避難・通報）
R.3.7.29	火災訓練（避難・消火・通報）	R.4.1.27	火災訓練（避難・消火・通報）
R.3.8.26	火災訓練（避難・消火・通報）	R.4.2.24	中止
R.3.9.22	総合訓練	R.4.3.14	総合訓練

#### (2) 事故防止

利用者の通院を伴う怪我の発生時には、関係機関への連絡はもとより、事故発生の検証を行い、全職員でリスク共有し、再発防止に努めました。

また、職員会議や朝夕の打合せを通じ、全職員に交通事故防止に対する啓蒙に努めました。

### 5 適正な事務執行と省エネ対策の実施

年度計画に基づく適正な事務執行と、ゴミの分別徹底、古紙・アルミ缶のリサイクルなどゴミの減量化、節水・節電やコピー用紙の節約など、省エネ対策について職員の理解と徹底に努めました。



## 6 家族との連携について

利用者の豊かな生活と学園運営を円滑に行うため、全体懇談会を2回を予定しておりました。7月に1回目を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染・予防の観点から中止となりました。しかし、10月に小グループごとではありましたが約2年ぶりとなる懇談会は開催でき、学園運営に対する理解を深めることができました。班別懇談会及び給食試食会は開催を見送り、個別懇談会は、アセスメントや個別支援計画作成のため今年も個別電話懇談という形で実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症に伴う行事や活動内容の中止・変更や、感染・予防の対策についてはその都度お便りを発行し、緊急時にも対応出来るよう緊急携帯電話の活用など、家族との連携に努めました。毎月発行の学園通信で学園の運営状況をタイムリーにお知らせするとともに、日々の個別の利用者状況は各担当支援員が連絡帳や適時の電話連絡、活動状況の写真配布など、きめ細かに情報交換を行うなどして連携に努めました。

## 7 グループホームとの連携について

グループホームを利用している方は3名おります。施設の状況などの情報を共有しながらグループホームの支援員や関係機関との連携・連絡を図り、利用者が安心して通所ができる環境作りに努めました。

## 8 実習生の受け入れ

### (1) 実習生の受け入れ

大学生や各種学校の実習生の受け入れは、新型コロナウイルス感染症の感染・予防の観点から見送りました。

### (2) 現場実習生の受け入れ

学園に入所希望の生徒に対して進路の参考となるよう、新型コロナウイルス感染症の感染・予防の対策を取りながら、今年度は1校3人を受け入れました。

#### <実習生受入状況>

学 校 名	1 年 生	2 年 生	3 年 生	合 計
札幌伏見支援学校	2 人	—	1 人	3 人

## 9 ボランティアの受け入れ

ボランティアの受け入れは、新型コロナウイルス感染症の感染・予防の観点から見送りました。

## 10 苦情解決

第三者委員や苦情解決責任者（学園長）、苦情受付担当者（副学園長）を設け、苦情・要望の受付体制を整えていましたが、令和3年度は、受付した苦情はありませんでした。

## 11 感染症対策

利用者、職員の体調管理（検温等）及び建物等の消毒、定期的な換気を行い感染予防に取り組みました。



## 拠点区分資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円) 1頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	障がい福祉サービス等事業収入	132,005,000	133,124,624	△1,119,624	
	自立支援給付費収入	127,884,000	129,047,255	△1,163,255	
	介護給付費収入	127,884,000	129,047,255	△1,163,255	
	特定費用収入	3,100,000	3,113,640	△13,640	
	その他の事業収入	494,000	506,420	△12,420	
	補助金事業収入	0	506,420	△506,420	
	その他の事業収入	494,000	0	494,000	
	(保険等査定減)	0	△13,030	13,030	
	生産活動事業収入	527,000	470,339	56,661	
	印刷事業収入	127,000	0	127,000	
	受託加工事業収入	400,000	436,139	△36,139	
	農産事業収入	0	34,200	△34,200	
	受取利息配当金収入	1,000	206	794	
	その他の収入	1,538,000	1,601,275	△63,275	
	利用者等外給食費収入	939,000	958,150	△19,150	
	雑収入	599,000	643,125	△44,125	
<b>事業活動収入計(1)</b>	<b>133,544,000</b>	<b>134,726,105</b>	<b>△1,182,105</b>		
支出	人件費支出	101,767,000	101,693,480	73,520	
	職員給料支出	74,000,000	73,662,732	337,268	
	職員基本給支出	37,879,000	38,066,640	△187,640	
	職員諸手当支出	8,523,000	8,854,786	△331,786	
	臨時職員給料支出	27,598,000	26,741,306	856,694	
	職員賞与支出	12,398,000	12,721,607	△323,607	
	正職員賞与支出	11,207,000	11,429,892	△222,892	
	常勤嘱託職員賞与支出	1,191,000	1,291,715	△100,715	
	非常勤職員給与支出	120,000	120,000	0	
	非常勤職員給与支出	120,000	120,000	0	
	退職給付支出	1,691,000	1,691,000	0	
	退職給付支出	1,691,000	1,691,000	0	
	法定福利費支出	13,558,000	13,498,141	59,859	
	法定福利費支出	13,558,000	13,498,141	59,859	
	<b>事業費支出</b>	<b>14,731,000</b>	<b>14,448,194</b>	<b>282,806</b>	
	給食費支出	3,100,000	3,113,640	△13,640	
	給食費	3,100,000	3,113,640	△13,640	
	保健衛生費支出	658,000	652,128	5,872	
	保健衛生費	658,000	652,128	5,872	
	被服費支出	5,000	1,958	3,042	
	教養娯楽費支出	500,000	460,008	39,992	
	教養娯楽費支出	500,000	460,008	39,992	
	日用品費支出	471,000	441,433	29,567	
	日用品費	471,000	441,433	29,567	
	水道光熱費支出	3,750,000	3,789,483	△39,483	
	電気代支出	1,650,000	1,508,536	141,464	
	水道代支出	1,296,000	742,434	553,566	
	ガス代支出	804,000	1,538,513	△734,513	
	消耗器具備品費支出	229,000	223,270	5,730	
	消耗品費支出	120,000	138,902	△18,902	
	器具備品費支出	109,000	84,368	24,632	
	保険料支出	574,000	572,610	1,390	
	貸借料支出	3,665,000	3,541,857	123,143	
	車輛費支出	1,252,000	1,181,468	70,532	
	車輛燃料費支出	1,232,000	1,174,912	57,088	
	車輛修繕費支出	20,000	6,556	13,444	
	生産活動事業支出	527,000	470,339	56,661	
	利用者工賃支出	527,000	458,188	68,812	
	手数料支出	0	440	△440	
	租税公課支出	0	11,711	△11,711	
<b>事務費支出</b>	<b>10,199,000</b>	<b>9,853,061</b>	<b>345,939</b>		
福利厚生費支出	375,000	356,400	18,600		
健康診断費支出	236,200	245,620	△9,420		
民間共済会掛金支出	54,600	52,380	2,220		

## 拠点区分資金収支計算書

(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

(単位:円) 2頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	その他福利厚生費支出	84,200	58,400	25,800	
	職員被服費支出	10,000	9,345	655	
	旅費交通費支出	112,000	108,504	3,496	
	会議等旅費支出	5,000	2,114	2,886	
	赴任旅費支出	107,000	106,390	610	
	研修研究費支出	90,000	80,160	9,840	
	研修負担金等支出	90,000	80,160	9,840	
	事務消耗品費支出	207,000	206,267	733	
	事務消耗品費支出	177,000	102,854	74,146	
	器具什器費支出	30,000	103,413	△73,413	
	印刷製本費支出	319,000	305,490	13,510	
	印刷製本費	319,000	305,490	13,510	
	修繕費支出	368,000	345,765	22,235	
	通信運搬費支出	671,000	662,308	8,692	
	会議費支出	8,000	2,070	5,930	
	会議費	8,000	2,070	5,930	
	広報費支出	895,000	882,796	12,204	
	広報費	895,000	882,796	12,204	
	業務委託費支出	6,371,000	6,170,780	200,220	
	業務委託費	6,371,000	6,170,780	200,220	
	手数料支出	392,000	360,862	31,138	
	手数料	392,000	360,862	31,138	
	租税公課支出	24,000	64,452	△40,452	
	保守料支出	187,000	157,652	29,348	
	渉外費支出	50,000	22,710	27,290	
	渉外費	50,000	22,710	27,290	
	諸会費支出	120,000	117,500	2,500	
	その他の支出	586,000	599,810	△13,810	
	利用者等外給食費支出	561,000	575,000	△14,000	
	雑支出	25,000	24,810	190	
	事業活動支出計(2)	127,283,000	126,594,545	688,455	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,261,000	8,131,560	△1,870,560	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支	収入				
	拠点区分間長期借入金収入	2,862,000	2,861,329	671	
	その他の活動による収入	3,000	2,600	400	
	その他の活動による収入	3,000	2,600	400	
	その他の活動収入計(7)	2,865,000	2,863,929	1,071	
活動による収支	支出				
	積立資産支出	1,314,000	1,313,325	675	
	退職給付引当資産支出	1,314,000	1,313,325	675	
	拠点区分間長期借入金返済支出	2,862,000	2,861,329	671	
	拠点区分間繰入金支出	4,944,000	6,815,635	△1,871,635	
	その他の活動による支出	6,000	5,200	800	
	その他の活動による支出	6,000	5,200	800	
	その他の活動支出計(8)	9,126,000	10,995,489	△1,869,489	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△6,261,000	△8,131,560	1,870,560	
	予備費支出(10)	0	0	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
	前期末支払資金残高(12)	0	0	0	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

## 拠点区分事業活動計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月 31日)

(単位：円) 1頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	障がい福祉サービス等事業収益	133,124,624	120,395,689	12,728,935	
	自立支援給付費収益	129,047,255	116,530,980	12,516,275	
	介護給付費収益	129,047,255	116,530,980	12,516,275	
	特定費用収益	3,113,640	3,028,700	84,940	
	その他の事業収益	506,420	502,000	4,420	
	補助金事業収益	506,420	502,000	4,420	
	(保険等査定減)	△13,030	△12,094	△936	
	生産活動事業収益	470,339	346,103	124,236	
	受託加工事業収益	436,139	321,803	114,336	
	農産事業収益	34,200	24,300	9,900	
	その他の収益	0	2,233,375	△2,233,375	
	サービス活動収益計(1)		133,124,624	122,629,064	10,495,560
	費用	人件費	103,409,605	99,908,113	3,501,492
職員給料		73,662,732	67,875,107	5,787,625	
職員基本給		38,066,640	37,503,149	563,491	
職員諸手当		8,854,786	7,523,509	1,331,277	
臨時職員給料		26,741,306	22,848,449	3,892,857	
職員賞与		9,676,807	9,064,179	612,628	
正職員賞与		8,385,092	8,025,591	359,501	
常勤嘱託職員賞与		1,291,715	1,038,588	253,127	
賞与引当金繰入		3,912,800	3,510,000	402,800	
非常勤職員給与		120,000	130,000	△10,000	
非常勤職員給与		120,000	130,000	△10,000	
退職給付費用		3,004,325	7,121,305	△4,116,980	
退職給付費用		3,004,325	7,121,305	△4,116,980	
法定福利費		13,032,941	12,207,522	825,419	
法定福利費		13,032,941	12,207,522	825,419	
事業費		14,448,194	13,154,845	1,293,349	
給食費		3,113,640	3,031,963	81,677	
給食費		3,113,640	3,031,963	81,677	
保健衛生費		652,128	287,654	364,474	
保健衛生費		652,128	287,654	364,474	
被服費		1,958	657	1,301	
教養娯楽費		460,008	252,475	207,533	
教養娯楽費		460,008	252,475	207,533	
日用品費		441,433	478,625	△37,192	
日用品費		441,433	478,625	△37,192	
水道光熱費		3,789,483	3,425,632	363,851	
電気代		1,508,536	1,376,523	132,013	
水道代		742,434	757,128	△14,694	
ガス代		1,538,513	1,291,981	246,532	
消耗器具備品費		223,270	150,893	72,377	
消耗品費		138,902	15,734	123,168	
器具備品費		84,368	135,159	△50,791	
保険料		572,610	886,160	△313,550	
賃借料		3,541,857	3,350,252	191,605	
車輛費		1,181,468	944,431	237,037	
車輛燃料費		1,174,912	924,950	249,962	
車輛修繕費		6,556	19,481	△12,925	
生産活動事業費	470,339	346,103	124,236		
利用者工賃	458,188	346,103	112,085		

## 拠点区分事業活動計算書

(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

(単位:円) 2頁

規定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	手数料	440	0	440
	租税公課	11,711	0	11,711
	事務費	9,853,061	9,855,249	△2,188
	福利厚生費	356,400	296,458	59,942
	健康診断費	245,620	191,848	53,772
	民間共済会掛金	52,380	52,210	170
	その他福利厚生費	58,400	52,400	6,000
	職員被服費	9,345	18,798	△9,453
	旅費交通費	108,504	57,530	50,974
	会議等旅費	2,114	57,530	△55,416
	赴任旅費	106,390	0	106,390
	研修研究費	80,160	40,660	39,500
	研修旅費	0	3,500	△3,500
	研修負担金等	80,160	37,160	43,000
	事務消耗品費	206,267	115,111	91,156
	事務消耗品費	102,854	92,201	10,653
	器具什器費	103,413	22,910	80,503
	印刷製本費	305,490	280,000	25,490
	印刷製本費	305,490	280,000	25,490
	修繕費	345,765	175,266	170,499
	通信運搬費	662,308	642,062	20,246
	会議費	2,070	0	2,070
	会議費	2,070	0	2,070
	広報費	882,796	1,138,697	△255,901
	広報費	882,796	1,138,697	△255,901
	業務委託費	6,170,780	6,544,780	△374,000
	業務委託費	6,170,780	6,544,780	△374,000
	手数料	360,862	293,921	66,941
	手数料	360,862	293,921	66,941
	租税公課	64,452	0	64,452
	保守料	157,652	103,482	54,170
	渉外費	22,710	62,184	△39,474
	渉外費	22,710	62,184	△39,474
	諸会費	117,500	86,300	31,200
	サービス活動費用計(2)	127,710,860	122,918,207	4,792,653
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	5,413,764	△289,143	5,702,907
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	206	215	△9
	その他のサービス活動外収益	1,601,275	918,589	682,686
	利用者等外給食収益	958,150	698,360	259,790
	雑収益	643,125	220,229	422,896
	サービス活動外収益計(4)	1,601,481	918,804	682,677
費用				
その他のサービス活動外費用	599,810	420,191	179,619	
利用者等外給食費	575,000	419,240	155,760	
雑損失	24,810	951	23,859	
	サービス活動外費用計(5)	599,810	420,191	179,619
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,001,671	498,613	503,058
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	6,415,435	209,470	6,205,965
特別増	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0

## 拠点区分事業活動計算書

( 自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日 )

(単位：円) 3頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
減 の 部	拠点区分間繰入金費用	6,815,635	0	6,815,635
	特別費用計(9)	6,815,635	0	6,815,635
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△6,815,635	0	△6,815,635
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△400,200	209,470	△609,670
繰 越	前期繰越活動増減差額(12)	△3,615,328	△3,824,798	209,470
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△4,015,528	△3,615,328	△400,200
活 動 増 減 差 額 の	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金取崩額	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	その他の積立金積立額	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		△4,015,528	△3,615,328	△400,200

51

